令和５年度　京町小学校だより　No.11

京　町

令和５年９月　１日（金）
地域を愛し、豊かな人生を歩むために学ぶ子どもの育成
《文責》　校長　小西　郁美

■　夏休み、先生も学びました。

①　小学校英語教育学会（京都大会）にて、本校の実践を発表　7 月 23 日（日）

本校は令和 3 年度から、CLIL クリルといって、内容言語統合型学習に取り組んでいます。教科科目の内容と外国語（英語）を統合して学習を行うことです。学年によって、どの教科を、CLIL で行うかは、担任に委ねていますが、5 年生と 6 年生では原則として「理科」を「英語」で学ぶ授業を行っています。

令和 4 年度に、当時の 6 年生の授業を四天王寺大学教育学部　柏木賀津子教授に参観をいただき、ご助言をいただいたことがご縁で、令和 5 年度の小学校英語教育学会（京都大会）にて、京町小学校の実践を発表する機会を得ました。発表の内容は、本校の ALT Seth 先生と担任が行った授業の内容を紹介しました。特に令和 4 年度の 6 年生担任中島早葉教諭の理科の授業と本年度の 6 年生担任林田みなみ教諭の理科の授業を中心に、成果と課題の報告を行いました。

全国大会のため、北海道をはじめとする各地から、大学教授や小学校の先生まで幅広い層の方々が参加されており、その方々に本校の実践を披露することができ、また多くのご質問やご意見をいただくことができました。中でも、本校の子ども達が、一生懸命に英語を話そうとしたり、聞いて理解しようとしたりする姿に対して、賞賛の声をたくさんいただきました。

この CLIL の実践は、本校の ALT の Seth 先生の並々ならぬ努力に負うところがたくさんあります。今回の発表内容も、Seth 先生が妥協を許さず、CLIL について多くの文献を読み、子ども達の授業の様子を動画撮影したものを、英語を話している時間、日本語を話している時間などに解析し、子ども達が英語に慣れ親しむためには、どのような手段が有効で改善すべき箇所はどこかを丁寧に、整理をしてくれました。Seth 先生を本校の ALT として迎えることができたことは、本校の大きな力です。

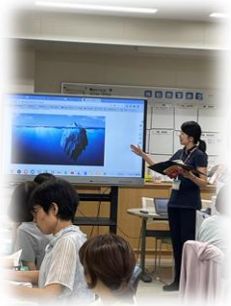
この CLIL の実践は、京町小学校という「普通の公立の小学校が行っている」ことで注目もされています。CLIL について、発表や報告をする際に、「公立小学校ですよね」と驚かれることは何度もありました。

「先行き不透明な時代」「多様性の時代」といわれる今日、お子様が、外国語（英語）に慣れ親しむことは、お子様の可能性を広げることにつながると信じています。
これからも、お子様が外国語（英語）に慣れ親しむことができるように、CLIL の授業を推進していきたいと考えています。

②　久留米市教育センター短期研修参加　→　校内研修

久留米市には、「久留米市教育センター」があり、様々な研修を受けることができるようになっています。夏休み期間を中心に、短期研修といって、著名な講師の先生に来ていただ

いて研修を受けることができるようになっています。本校の先生方も、積極的に研修に参加をしています。参加をした後は、他の先生方に、研修の内容を伝えるための校内研修を行っています。写真のように、各先生が講師となって、全職員で学習する機会を設けています。



【　講師として研修をする先生方　】※全員は掲載できませんので一部の先生の写真です。

■　牛乳（ぎゅうにゅう）パックが変更（へんこう）になりました。

持続可能な社会をめざして、プラスチックの使用を減らそうとする活動が薦められています。学校給食でも、牛乳のストローを使用しないように変更になっています。

京町小学校では、１０月までの分のストローがまだありますので、在庫がなくなるまではストローが付きますが、なくなり次第、牛乳パックから、直接飲むように変更になります。

口のところが開けやすくなるように改良されています。

■　前日（ぜんじつ）に時間割（じかんわり）を整（ととの）えることに、ご協力（きょうりょく）下（くだ）さい。

２学期が始まり、どの学級も学習に遊びに、元気に取り組むことができています。その一方で、忘れ物が目立つように感じます。「教科書」「ノート」「筆箱」は必須です。特に、「教科書」は、授業を理解するために、絶対条件です。担任も、お子さまが少しでも理解しやすいように一生懸命に教材の準備をして、授業に臨んでいます。お子さまも、「教科書」「ノート」「筆箱」の３点セットは、必ずそろえて授業を受けてほしいと思います。

学校でも、お子さまに、「時間割は忘れ物がないように自分でそろえましょう」と呼びかけます。ご家庭でも、時々でかまいませんので、上学年でも、お子さまのランドセルの中は見ていただいて、学習用具がそろっているかについて，ご確認をいただけますと助かります。